

# 自己評価及び外部評価結果表

## サービス評価自己評価項目 (評価項目の構成)

### .理念に基づく運営

1. 理念の共有
2. 地域との支えあい
3. 理念を実践するための制度の理解と活用
4. 理念を実践するための体制
5. 人材の育成と支援

### .安心と信頼に向けた関係づくりと支援

1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援

### .その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント

1. 一人ひとりの把握
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し
3. 多機能性を活かした柔軟な支援
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働

### .その人らしい暮らしを続けるための日々の支援

1. その人らしい暮らしの支援
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり

### .サービスの成果に関する項目

ホップ 職員みんなで自己評価!  
ステップ 外部評価でブラッシュアップ!!  
ジャンプ 評価の公表で取り組み内容をPR!!!

- サービス向上への3ステップ -

### 【記入方法】

指定認知症対応型共同生活介護の場合は、共同生活住居(ユニット)ごとに、管理者が介護職員と協議の上記入すること。

各自己評価項目について、「取組みの事実」を記入し、取組みたいに を付け、適宜その内容を記入すること。

「取組みの事実」は必ず記入すること。

(注) 自己評価について、誤字脱字等の記載誤り以外、外部評価機関が記載内容等を修正することはありません。

### 用語について

家族等 = 家族、家族に代わる本人をよく知る人、成年後見人などを含む。

(他に「家族」に限定する項目がある)

運営者 = 事業所の具体的な経営・運営に関わる決定権を持つ、管理者より上位の役職者(経営者と同義)。

職員 = 「職員」には、管理者および非常勤職員を含む。

チーム = 一人の人の関係者が連携し、共通認識で取り組むという意。

関係者とは管理者・職員はもとより、家族、かかりつけ医、包括支援センターなど、事業所以外で本人を支えている関係者を含む。

事業所名

グループホームゆう

(ユニット名)

あんず

記入者(管理者)

氏名

松井 日出美

評価完了日

平成 19 年 6 月 19 日

# 1. 評価結果概要表

作成日 平成 19年 8月 20日

【評価実施概要】

事業所番号	3873900561		
法人名	(有)介護サービスゆう		
事業所名	グループホームゆう		
所在地	愛媛県北宇和郡鬼北町奈良3768番3 (電話) 0895-45-0638		
管理者	松井日出美		
評価機関名	特定非営利活動法人 JMACS		
所在地	松山市三番町六丁目5 - 1 9 扶桑ビル2階		
訪問調査日	平成19年7月10日	評価確定日	平成19年8月20日

【情報提供票より】 (平成19年5月28日事業所記入)

(1)組織概要			
開設年月日	平成16年7月1日		
ユニット数	2 ユニット	利用定員数計	18 人
職員数	15 人	常勤	14人, 非常勤 1人, 常勤換算 14.5人
(2)利用料金等(介護保険自己負担分を除く)			
家賃(平均月額)	21,000 円	その他の経費(月額)	利用状況により異なる
敷金	有( 円) (無)		
保証金の有無(入居一時金含む)	有( 円) (無)	有りの場合償却の有無	有 / 無
食材料費	朝食	300 円	昼食 350 円
	夕食	350 円	おやつ 円
	または1日当たり 円		
(3)利用者の概要 (平成19年5月28日現在)			
利用者人数	18 名	男性 5 名	女性 13 名
要介護1	4 名	要介護2	5 名
要介護3	7 名	要介護4	2 名
要介護5	0 名	要支援2	0 名
年齢	平均 84.5 歳	最低 73 歳	最高 96 歳
(4)他に事業所として指定等を受けている事業及び加算			
指定 (あり)・なし	指定介護予防認知症対応型共同生活介護		
指定 あり・(なし)	指定認知症対応型通所介護		
届出 あり・(なし)	短期利用共同生活介護		
加算 (あり)・なし	医療連携体制加算		

【外部評価で確認されたこの事業所の特徴】

<p>入居前に楽しんでいた老人会のクローカーを入居後も続けていけるよう、職員が送迎をされている。自宅の畑で農作業を続けることも継続されており、職員と一緒に行き支援されている。又、収穫した野菜を親戚に送り喜ばれている。</p> <p>職員で話し合い研修の年間スケジュールを作成し、積極的に参加されている。毎月のミーティング時では、現在の課題点について勉強会を行っている。又、事業所独自の90項目の自己評価を職員が実施し、日々のケアの取り組みについて振り返っておられる。</p>
---

【質向上への取組状況】

<p><b>前回評価での主な改善課題とその後の取組、改善状況(関連項目:外部4)</b></p> <p>・前回の評価結果を踏まえ、改善計画を作成し、事業所のさらなる質の向上に取り組まれた。</p>
<p><b>今回の自己評価に対する取り組み状況(関連項目:外部4)</b></p> <p>・自己評価を全職員で取り組まれた。自己評価を全職員で取り組まれた。</p>
<p><b>運営推進会議の主な討議内容及びそれを活かした取り組み(関連項目:外部4,5,6)</b></p> <p>・事業所のことをさらに知っていただけるよう取り組まれている。民生委員の方に声かけし、順番に出席していただき、事業所の活動報告や、利用者の状況、外部評価の結果を報告し、質問や意見をいただいている。</p>
<p><b>家族の意見、苦情、不安への対応方法・運営への反映(関連項目:外部7,8)</b></p> <p>・日常のご家族の来訪時にも意見をいただけるよう働きかけを行なっておられる。</p>
<p><b>日常生活における地域との連携(関連項目:外部3)</b></p> <p>・隣に小学校があり、児童が遊びに来てくれる。調査訪問時、利用者が小学校の門の周囲の草引きをされていた。学校の先生や近くで農作業をされている方達とあいさつ等をされている。</p>

## 自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
<b>.理念に基づく運営</b>					
<b>1.理念と共有</b>					
1	1	地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	(自己評価)		
			「一人ひとりの個性を尊重し、その人らしい生活が送れるように支援する」の理念に基づき、利用者本位のサービスを提供している。		
			(外部評価)		
			利用者へのかかわり方やケアについて、利用者主体のサービスを提供するための理念が作られている。		この機会に、利用者が地域の中でその人らしく暮らし続ける事を支えていくサービスとしての理念について、話し合ってみてはどうだろうか。
2	2	理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	(自己評価)		
			個人を良く知り、常に相手の気持ちを考えて行動出来るよう心掛けている。		
			(外部評価)		
			玄関に事業所の理念を掲示し、毎月のミーティング、カンファレンスの機会に理念の実践に向けて話し合われている。		
3		家族や地域への理念の浸透 事業所は、利用者が地域の中で暮らし続けることを大切にしたい理念を、家族や地域の人々に理解してもらえるよう取り組んでいる	(自己評価)		
			運営推進会議等において、社訓理念の啓発を行っている。		

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
<b>2. 地域との支えあい</b>					
4		隣近所とのつきあい 管理者や職員は、隣近所の人と気軽に声をかけ合ったり、気軽に立ち寄ってもらえるような日常的なつきあいができるように努めている	(自己評価) 散歩の時など常にこちらから挨拶するように心掛けている。隣接する小学校や地域の方々も気軽に遊びに来られている。		
5	3	地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	(自己評価) 老人会への参加、クロッケー、敬老会、同窓会など、積極的に地域との関わりを持っている。又、小学校との交流も行っている。 (外部評価) 隣に小学校があり、児童が遊びに来てくれる。調査訪問時、利用者が小学校の門の周囲の草引きをされていた。学校の先生や近くで農作業をされている方達とあいさつ等をされている。利用者のご家族が、事業所内で琴の発表会をしてくださり、ご近所の方達にも案内をされた。		
6		事業所の力を活かした地域貢献 利用者への支援を基盤に、事業所や職員の状況や力に応じて、地域の高齢者等の暮らしに役立つことがないか話し合い、取り組んでいる	(自己評価) 利用者がボランティア精神で小学校の草引きをしたり、お手製のお手玉をプレゼントしたりして喜んで頂いている。		
<b>3. 理念を実践するための制度の理解と活用</b>					
7	4	評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	(自己評価) 去年の改善すべき点は反省しつつ、改善出来る所は取り組んでいる。職員が質向上への機会ととらえ取り組んでいる。 (外部評価) 自己評価を全職員で取り組まれた。前回の評価結果を踏まえ、改善計画を作成し、事業所のさらなる質の向上に取り組まれた。プライバシーの面について配慮できるよう、玄関から見えるトイレの戸を改善されている。		

## 自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
8	5	運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの 実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	(自己評価)		
			運営推進会議で話し合った意見等参考にしながら、サービス向上に取り組んでいる。		
			(外部評価)		
			事業所のことをさらに知っていただけるよう取り組まれている。民生委員の方に声かけし、順番に出席していただき、事業所の活動報告や、利用者の状況、外部評価の結果を報告し、質問や意見をいただいている。		さらに、地域に密着した事業所を目指すためにも、いろいろな方の声が聞けるような会議の取り組みも期待される。
9	6	市町村との連携 事業所は、市町村担当者と運営推進会議 以外にも行き来する機会をつくり、市町村 とともにサービスの質の向上に取り組んでいる	(自己評価)		
			連携、報告を密に行っている。		
			(外部評価)		
			事故報告を行っておられる。		
10		権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、地域福祉権利擁護事業 や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、 個々の必要性を関係者と話し合い、必要な 人にはそれらを活用できるよう支援している	(自己評価)		
			隣接する宅老所において家族と相談の上今、成年後見制度を申請中である。地域福祉権利擁護事業も訪問介護で利用中である。		
11		虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法 について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や 事業所内で虐待が見過ごされることがない よう注意を払い、防止に努めている	(自己評価)		
			事業所内では虐待は行われていないが、自宅での虐待が懸念される場合は市町村に報告している。		

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
<b>4. 理念を実践するための体制</b>					
12		契約に関する説明と納得 契約を結んだり解約をする際は、利用者や家族等の不安、疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	(自己評価) 施設長、管理者にて入所前に十分な説明と理解のもと入所されている。		
13		運営に関する利用者意見の反映 利用者が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	(自己評価) 運営推進会議等で利用者の意見などお聞きしている。又、普段の様子を観察し、利用者が満足出来るようサービス向上に努めている。		
14	7	家族等への報告 事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々に合わせた報告をしている	(自己評価) 1ヵ月に1回は必ず便りや金銭出納帳、写真等を添えて送付を行っている。又、面会の際、今の状況を伝えご家族からの要望を聞き入れ常に話し合いを持っている。		
			(外部評価) 毎月、ご本人の様子や行事のこと等を手紙に書き、ご家族へ送付されている。又、病院受診等電話連絡も随時されている。ご家族の来訪時に、新人職員を紹介されている。		今後さらに、遠くにお住まいのご家族への報告等についても工夫していきたいと考えておられた。
15	8	運営に関する家族等意見の反映 家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	(自己評価) 運営推進会議等で家族の意見をお聞きして運営に反映させている。		
			(外部評価) 日常のご家族の来訪時にも意見をいただけるよう働きかけを行なっておられる。現在は、ご家族からの意見や要望は少な目である。		今後、家族会開催の回数を増やしていきたいと考えておられた。

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
16		運営に関する職員意見の反映 運営者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	(自己評価) 月1回のミーティングで、要望や提案など話し合いを持っている。可能な限り対応、検討している。		
17		柔軟な対応に向けた勤務調整 利用者や家族の状況の変化、要望に柔軟な対応ができるよう、必要な時間帯に職員を確保するための話し合いや勤務の調整に努めている	(自己評価) 昨年度より人員を1人増員しさまざまな状況に対応出来るよう体制を整えた。6月より責任者を日勤勤務とし、利用者の状況をより一層観察出来るようにした。		
18	9	職員の異動等による影響への配慮 運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている	(自己評価) 異動や離職は最小限に抑える努力をし、利用者に混乱が起きないように配慮している。又、2ユニットは隣同士なので、利用者は自由に行き来していることから全職員と顔馴染みになっている。		
			(外部評価) 調査訪問時、利用者はユニット間を行き来されており、他ユニットの職員とも顔馴染みの関係となっている様子であった。		
<b>5. 人材の育成と支援</b>					
19	10	職員を育てる取り組み 運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	(自己評価) 研修会は可能な限り参加している。月1回のミーティングにおいても、テーマを決めて順番に研究発表を行っている。定期的な自己評価を行ない、自分自身を見つめ直す機会を持っている。		
			(外部評価) 職員で話し合い、研修の年間スケジュールを作成し、積極的に参加されている。毎月のミーティング時、事業所内での現在の課題点を見出し勉強会を行っている。又、事業所独自の90項目の自己評価を職員が実施し、日々のケアの取り組みについて振り返っておられる。		



自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
20	11	同業者との交流を通じた向上 運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	(自己評価)		
			全職員が他グループホームの実習を行ない、自施設の質向上に取り組んでいる。		
			(外部評価)		
			他のグループホームに職員が交代で研修に行き、日々のケアに活かしておられる。		
21		職員のストレス軽減に向けた取り組み 運営者は、管理者や職員のストレスを軽減するための工夫や環境づくりに取り組んでいる	(自己評価)		
			以前は利用者様と一緒に休憩していたが、職員を増員し個別に休憩出来るようになり、心にゆとりが出来ストレスの軽減に役立っている。		
22		向上心を持って働き続けるための取り組み 運営者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、各自が向上心を持って働けるように努めている	(自己評価)		
			月1回の定例会において各職員の仕事の様子、意見要望等を聞いたり、定期的な研修の機会を設け、認知症介護の質的向上を図っている。各人の自己評価も定期的に行ない自分自身を見つめ直す機会としている。		
<p><b>.安心と信頼に向けた関係づくりと支援</b></p> <p><b>1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応</b></p>					
23		初期に築く本人との信頼関係 相談から利用に至るまでに本人が困っていること、不安なこと、求めていること等を本人自身からよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている	(自己評価)		
			入所前に詳しくアセスメントを行ない利用者を良く知り、信頼関係を築ける努力を行っている。		



自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
24		初期に築く家族との信頼関係 相談から利用に至るまでに家族等が困っていること、不安なこと、求めていること等をよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている	(自己評価) 入所前に家族との話し合いを持ち、詳しくアセスメントを行っている。安定した生活を送っていただけるよう努めている。		
25		初期対応の見極めと支援 相談を受けた時に、本人と家族が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	(自己評価) ケアマネージャー、医療機関、支援センターなどと連携を取り合い、本人、家族と相談の上で最良の支援を行っている。		
26	12	馴染みながらのサービス利用 本人が安心し、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐徐に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している	(自己評価) 利用者と家族と一緒にホームを見学されたり、隣接するデイサービスを利用して、慣れて頂いたり工夫している。 (外部評価) 併設のデイサービスに通われていた利用者の入居もあり、入居後もデイサービスと交流されている。病院や自宅からの入居の方には、事前にご本人やご家族に見学していただいている。		
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援					
27	13	本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている	(自己評価) 個人を尊重し、信頼関係が保たれている。(一緒に買物、散歩、掃除、洗濯、調理等を行っている) (外部評価) 職員は、利用者に料理の味見をしていただいたり、野菜の柵の作り方等を教えてもらっている。利用者が詠まれた川柳に他の利用者が感想を述べておられた。		今後も、利用者の得意な茶の湯やお華を教えていただけるような場面作りを増やすことを検討されていた。

## 自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
28		本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、喜怒哀楽を共にし、一緒に本人を支えていく関係を築いている	(自己評価) 家族には利用者の状況をお伝えしている。共に考え、相談等行っている。		
29		本人と家族のよりよい関係に向けた支援 これまでの本人と家族との関係の理解に努め、より良い関係が築いていけるように支援している	(自己評価) ご家族がいつでも気軽に訪問でき、宿泊や一緒に食事も自由に取れるようにしている。		
30		馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないう、支援に努めている	(自己評価) 老人会への参加や、今まで続けてこられたクローカーなど入所されても続けられている。職員が送迎を行っている。		
31		利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるように努めている	(自己評価) 利用者同士が信頼関係を築けるよう職員は状況に応じて、さりげなく声掛け誘導を行っている。		
32		関係を断ち切らない取り組み サービス利用(契約)が終了しても、継続的な関わりを必要とする利用者や家族には、関係を断ち切らないつきあいを大切にしている	(自己評価) 長期の医療が必要となり、退所された利用者に対して、医師と家族と連携を取り合い対応している。		

## 自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
<b>.その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント</b>					
<b>1.一人ひとりの把握</b>					
33	14	思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	(自己評価)		
			本人、家族等より詳しいアセスメントを行ないセンター方式にて、その人らしい生活を支援出来るよう取り組んでいる。		
			(外部評価)		
			職員は、利用者とかかわる時間を大切にされている。言葉に出されない方には、特に日々の行動や表情を意識し、汲み取っておられる。		
34		これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	(自己評価)		
			本人、家族、ケアマネージャー等より、アセスメントを行ない、センター方式にてその人らしい生活を支援出来るよう努めている。		
35		暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状を総合的に把握するように努めている	(自己評価)		
			利用者様一人一人の一日の過ごし方や、心身状態の把握を行ない残存機能の維持、向上に努めている。		
<b>2.本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し</b>					
36	15	チームでつくる利用者本位の介護計画 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している	(自己評価)		
			毎月職員全員、管理者と一人一人のカンファレンスを行ない、今の状態や目標を立て話し合いを行ない介護計画に反映している。又、家族連携ノートを作り、細かい要望、意見等記入している。		
			(外部評価)		
			ご家族の思いや意見を聴き取り、「家族連携ノート」を作成し、毎月ミーティングで話し合い、計画には反映されている。		さらに、利用者ご本人の求めていることにこだわり、又、ご本人にかかわる人達の意見やアイデアを十分に採り入れ、ご本人主体の計画の作成が期待される。

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
37	16	現状に即した介護計画の見直し 介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している	(自己評価)		
			毎月のミーティングでカンファレンスを行ない評価を行っている。変化があった場合は介護計画の見直しを行っている。		
			(外部評価)		
			基本的には6ヶ月ごとの見直しとされている。毎月、ミーティングで話し合い、状態に応じて随時見直しをされている。		
38		個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	(自己評価)		
			個別に日々の様子、ケアの実践、気づき等記入して、介護計画に活かし、実践している。		
<b>3. 多機能性を活かした柔軟な支援</b>					
39	17	事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている	(自己評価)		
			事業所は訪問介護、デイサービス、宅老所を運営しており、利用者の状況にあったサービスを提供している。あくまでも自宅で生活出来るよう支援しているが、在宅生活が困難になった場合は、施設入所となっている。		
			(外部評価)		
			入居前に楽しまれていた老人会のクロッキーを入居後も続けていけるよう、職員が送迎をされている。自宅の畑で農作業を続けることも継続されており、職員と一緒に行き支援されている。又、収穫した野菜を親戚に送り喜ばれている。		

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
<b>4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働</b>					
40		(自己評価) 地域資源との協働 本人の意向や必要性に応じて、民生委員やボランティア、警察、消防、文化・教育機関等と協力しながら支援している	民生委員の訪問、ボランティア受け入れ、小学生との交流、老人会との交流、消防との連携等、さまざまな地域との関わりを持っている。(夜間パトロール、消防訓練、ボランティア)		
41		(自己評価) 他のサービスの活用支援 本人の意向や必要性に応じて、地域の他のケアマネジャーやサービス事業者と話し合い、他のサービスを利用するための支援をしている	様々な関係機関と連携を取り、個々に適したサービスが提供出来るよう家族、関係機関と話し合いを持っている。(デイサービス見学)		
42		(自己評価) 地域包括支援センターとの協働 本人の意向や必要性に応じて、権利擁護や総合的かつ長期的なケアマネジメント等について、地域包括支援センターと協働している	本人、家族の意向を受け状況に即した対応を行う為、支援センターとも連携を取り合っている。		
43	18	(自己評価) かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	(外部評価) かかりつけ医師は本人、家族の希望により決めている。さまざまな医療機関とも連携体制をとっている。 月に1度、協力医療機関の医師による、往診がある。病院受診は、職員が同行したり、身体状況によってご家族が対応することもある。		
44		(自己評価) 認知症の専門医等の受診支援 専門医等認知症に詳しい医師と関係を築きながら、職員が相談したり、利用者が認知症に関する診断や治療を受けられるよう支援している	認知症の利用者様を良く理解して頂き、状況に応じて受診して頂いている。		

## 自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
45		看護職との協働 利用者をよく知る看護職員あるいは地域の看護職と気軽に相談しながら、日常の健康管理や医療活用の支援をしている	(自己評価)  ホーム、宅老所の看護職員と共に日々の利用者の健康管理を行っている。		
46		早期退院に向けた医療機関との協働 利用者が入院した時に安心して過ごせるよう、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて連携している	(自己評価)  利用者が入院された時は、医療機関と連携して情報交換や相談を行っている。(救急時における対応について北宇和HPの院長や看護師と連絡を取り合っている)		
47	19	重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している	(自己評価)  ご家族と話し合いのもと、医師と相談の上終末ケアに向けての取り組みを行っている。看取りの契約も交わされている。(看取指針)  (外部評価)  ご本人ご家族の希望により、現在、事業所では看取りを実践されている。事業所にご家族が宿泊されており、状態に応じ医師の往診がなされ、話し合いを行ないながら協力し合っておられる。		
48		重度化や終末期に向けたチームでの支援 重度や終末期の利用者が日々をより良く暮らせるために、事業所の「できること・できないこと」を見極め、かかりつけ医とともにチームとしての支援に取り組んでいる。あるいは、今後の変化に備えて検討や準備を行っている	(自己評価)  現在ターミナルの利用者が生活されている。本人、家族ともグループホームでの終末ケアを希望されている。医師と検討の上、1日おきの点滴を施している。痛みなどが出来たら、本人の為に入院も視野に入れた話し合いは出来ている。		
49		住み替え時の協働によるダメージの防止 本人が自宅やグループホームから別の居所へ移り住む際、家族及び本人に関わるケア関係者間で十分な話し合いや情報交換を行い、住み替えによるダメージを防ぐことに努めている	(自己評価)  出来る限りの情報交換を行っている。		

## 自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
<b>. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援</b>					
<b>1. その人らしい暮らしの支援</b>					
<b>(1) 一人ひとりの尊重</b>					
50	20	プライバシーの確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない	(自己評価)		
			一人ひとりの個性を尊重し、プライバシーの保護に努めている。利用者には敬語で対応している。		
			(外部評価)		
			調査訪問時、探し物をされている利用者に、職員が周囲にわからないよう声かけし、支援しておられた。		
51		利用者の希望の表出や自己決定の支援 本人が思いや希望を表せるように働きかけたり、わかる力に合わせた説明を行い、自分で決めたり納得しながら暮らせるように支援をしている	(自己評価)		
			一人ひとりとの対応を心掛けさまざまなサインを見逃さないよう努めている。		
52	21	日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	(自己評価)		
			起床、就寝、食事時間等決まっていない。日中はクローカーに行ったり、家に帰って畑仕事をしたり、編み物をしたりと、自由に過ごされている。(一人ひとりの日課に合わせている)		
			(外部評価)		
			一人ひとりの体調に配慮しながら、その日、その時のご本人の気持ちを大切に、行いたいことを尊重して支援されている。昼食時、眠そうにされている方には、「後で食べましょうか」と職員が声掛けをし、お部屋で休まれる方もおられた。		



## 自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
(2) その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援					
53		身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援し、理容・美容は本人の望む店に行けるように努めている	(自己評価) 理容、美容は、御本人の望まれる店に行ける様にしている。女性の利用者ではパーマ、毛染めのおしゃれをされる。		
54	22	食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	(自己評価) 利用者の好み又、季節の食材を取り入れ、利用者と一緒に食事作りを行っている。  (外部評価) 利用者に聴きながらメニューを決めておられる。利用者と一緒に育てた野菜を使って調理をされていた。食器も個々に合わせておられ、食べやすさ等にも配慮されていた。		
55		本人の嗜好の支援 本人が望むお酒、飲み物、おやつ、たばこ等、好みのものを一人ひとりの状況に合わせて日常的に楽しめるよう支援している	(自己評価) 健康管理を行ない利用者の好みの物を支援している。		
56		気持ちよい排泄の支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして気持ちよく排泄できるよう支援している	(自己評価) 排泄パターンを記録し、個々の状況を把握している。失禁しないようさりげなく声掛け、誘導も利用者に合わせて行っている。		

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
57	23	入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	(自己評価)		
			夕食後の入浴にも対応出来るよう遅出の時間体制を整えた。利用者の希望により、入浴日、入浴時間は自由である。		
			(外部評価)		
			入浴したい日や時間に入浴していただいている。一人で入浴することを希望される方には、職員が外で声かけをしながら安全に配慮し支援されている。		
58		安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、安心して気持ちよく休息したり眠れるよう支援している	(自己評価)		
			休息は本人の意思で自由に取られている。又、個々に応じて声掛け、誘導を行って休息を取って頂いている。		
(3)その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援					
59	24	役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	(自己評価)		
			利用者一人ひとりに合った生活を送れるようクローカー、畑仕事、散歩、買物、ドライブなどその人に合った支援をしている。		
			(外部評価)		
			カラオケが好きな方は、毎日歌を歌っておられる。事業所で飼っているウサギのお世話をされる方もおられ、調査訪問時、雨が降ってくると、雨に当たらないよう小屋を移動されていた。		
60		お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	(自己評価)		
			金銭管理出来る方はお財布は本人が管理するようにしている。買物に出掛ける時は、お小遣いを持って欲しい物を職員と相談しながら購入している。		

## 自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
61	25	日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	(自己評価)		
			本人の希望をなるべく聞き入れながら、自立へ向けての支援を心掛けている。(買物やクローカーの参加など)		
			(外部評価)		
			日常的な散歩や買い物等、天候のよい日は、ほぼ毎日車で出かけておられる。		
62		普段行けない場所への外出支援 一人ひとりが行ってみたい普段は行けないところに、個別あるいは他の利用者や家族とともに出かけられる機会をつくり、支援している	(自己評価)		
			ご家族と相談の上、本人の意思を尊重している。お盆のお墓参りや、お祭りなど外出している。		
63		電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	(自己評価)		
			利用者様が電話したいなど要望があれば職員がきちんと対応している。手紙を添え、畑で採れた野菜を家族に送られたりと関係が続くよう支援している。		
64		家族や馴染みの人の訪問支援 家族、知人、友人等、本人の馴染みの人たちが、いつでも気軽に訪問でき、居心地よく過ごせるよう工夫している	(自己評価)		
			ご家族がいつでも気軽に訪問出来、宿泊や一緒に食事も摂れるようにしている。		

## 自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
(4) 安心と安全を支える支援					
65		身体拘束をしないケアの実践 運営者及び全ての職員が「介護保険法指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、身体拘束をしないケアに取り組んでいる	(自己評価) 事業所は身体拘束に関するマニュアルを作成し全ての職員に周知している。ベッド柵など転倒される以外は使用せず、徘徊がひどい人に対しても可能な限り自由に過ごせるよう見守りをを行っている。		
66	26	鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	(自己評価) 日中はほとんど鍵をかけずに自由に出入りが出来、外出されても本人の意思に任せており、職員が必ず見守りを行うように配慮している。 (外部評価) 利用者が外出する場合、止めるのではなく、さりげなく声をかけたり一緒に付き添うようにされている。安全面に配慮して、自由に暮らせるよう取り組まれている。		
67		利用者の安全確認 職員は本人のプライバシーに配慮しながら、昼夜通して利用者の所在や様子を把握し、安全に配慮している	(自己評価) 全職員は日中利用者一人ひとりの所在、状況把握に神経を使いながら、仕事をしている。又、夜間はプライバシーに配慮しながら一時間毎の見回りをやっている。		
68		注意の必要な物品の保管・管理 注意の必要な物品を一律になくすのではなく、一人ひとりの状態に応じて、危険を防ぐ取り組みをしている	(自己評価) 危険な薬物(洗剤、ハイターなど)は鍵をかけて保管したり、手の届かない高い場所に置くようにしている。手洗い、食器洗い、洗濯、刃物等は職員の見守り強化にて対応している。		
69		事故防止のための取り組み 転倒、窒息、誤薬、行方不明、火災等を防ぐための知識を学び、一人ひとりの状態に応じた事故防止に取り組んでいる	(自己評価) 事故防止の為に些細なことでもヒヤリハットに書き検討、対策を講じ、再発防止に努めている。又、研修、防災訓練、救命救急法を行ない知識、技術を身につけている。		

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
70		急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備え、全ての職員が応急手当や初期対応の訓練を定期的に行っている	(自己評価)  救急救命訓練を行ない、職員全員が内容を熟知するよう努めている。		
71	27	災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	(自己評価)  年2回の防災訓練を行い、防災対策を講じている。  (外部評価)  マニュアルを作成し、消防署の協力を得て、年2回利用者と共に避難訓練を行っている。		さらに、今後、地域の方達とも相互に協力出来るよう話し合ってみてはどうだろうか。
72		リスク対応に関する家族等との話し合い 一人ひとりに起こり得るリスクについて家族等に説明し、抑圧感のない暮らしを大切にしたい対応策を話し合っている	(自己評価)  利用者一人ひとりの心身の状態により、起こりうるリスクを家族とも相談した上で、必ず了解を得て対策を講じている。		
(5) その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援					
73		体調変化の早期発見と対応 一人ひとりの体調の変化や異変の発見に努め、気付いた際には速やかに情報を共有し、対応に結び付けている	(自己評価)  毎朝バイタルチェックを行ない、体調の変化や異変の発見に努め又、その変化やサインを記録に残し、異常時には看護師と連携を取り、対応している。		

## 自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
74		服薬支援 職員は、一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	(自己評価) 職員一人ひとりが薬の目的や副作用を理解し、服薬は一部介助にて行ない又、症状の変化の確認にも努めている。		
75		便秘の予防と対応 職員は、便秘の原因や及ぼす影響を理解し、予防と対応のための飲食物の工夫や身体を動かす働きかけ等に取り組んでいる	(自己評価) 排便チェックは毎日行っている。適度な運動を取り入れたり、食事を工夫し、薬に頼るのを少しでも軽減出来るよう配慮している。		
76		口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や力に応じた支援をしている	(自己評価) 毎食後の口腔ケアは利用者の状態に合わせて、声掛けや一部介助にて行っている。職員も一緒に口腔ケアを心掛けている。		
77	28	栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	(自己評価) 1日の食事摂取量や、水分補給、1ヶ月毎の体重測定など体調に応じて対応している。又、利用者様がいつでも自分でお茶を飲用出来る様に常時良く見える場所に、お茶、コップを置き対応している。 (外部評価) 献立は栄養士に栄養バランスのチェックをしてもらっており、病気の方には、味付け、摂取量等に配慮しながら支援されている。居間には、オーナージャックとコップを準備されており、水分摂取できるよう職員が声をかけておられた。		
78		感染症予防 感染症に対する予防や対応の取り決めがあり、実行している(インフルエンザ、疥癬、肝炎、MRSA、ノロウイルス等)	(自己評価) 出来ている。インフルエンザ予防接種は全員実施している。		

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
79		<p>食材の管理 食中毒の予防のために、生活の場としての台所、調理用具等の衛生管理を行い、新鮮で安全な食材の使用と管理に努めている</p>	<p>(自己評価)</p> <p>食中毒の予防の為、新鮮な食材を使用し必ず火を通してから食卓に出す様にしている。調理用具等の衛生管理にも気を付けている。</p>		
<p><b>2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり</b></p> <p>(1)居心地のよい環境づくり</p>					
80		<p>安心して出入りできる玄関まわりの工夫 利用者や家族、近隣の人等にとって親しみやすく、安心して出入りができるように、玄関や建物周囲の工夫をしている</p>	<p>(自己評価)</p> <p>気軽に出入り出来るよう玄関入口には季節の花や手作りの表札をかけている。中庭はベンチを設置し自由に腰掛ける事が出来る。小動物うさぎを飼っている。</p>		
81	29	<p>居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>(自己評価)</p> <p>浴槽は一人用の桧風呂でゆったりと入浴して頂いている。ゆったりとくつろいで頂けるよう居間にはソファ、畳、こたつを設置している。</p> <p>(外部評価)</p> <p>中庭には季節の野菜が植えられ、ウサギも飼われており、パラソルと椅子が設置されており、両ユニットの利用者が交流されている。</p>		
82		<p>共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中には、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている</p>	<p>(自己評価)</p> <p>自然に食堂や居間に集まられたり、廊下の日の当たる場所で自由に過ごされたり、庭のベンチに座られたりと、さまざまにくつろがれている。</p>		



自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
83	30	居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのもを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	(自己評価)		
			家で生活するような暮らしを提供出来るよう本人が使い慣れた家具や生活用品を持ち込まれている。		
			(外部評価)		
			ご家族の写真を貼ったり使い慣れたタンスを持ち込まれている方もおられる。畳を敷かれている方もおられ、その人らしい居室作りの工夫をされていた。		
84		換気・空調の配慮 気になるにおいや空気よどみがないよう換気に努め、温度調節は、外気温と大きな差がないよう配慮し、利用者の状況に応じてこまめに行っている	(自己評価)		
			共有する食堂や居間では、冷暖房の温度調節をし、各部屋に冷暖房を設置換気等に気を使っている。		
(2) 本人の力の発揮と安全を支える環境づくり					
85		身体機能を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの身体機能を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	(自己評価)		
			トイレ内、廊下、お風呂場に手すりをつけ、居室の中、入口に畳との段差の解消を行っている。		
86		わかる力を活かした環境づくり 一人ひとりのわかる力を活かして、混乱や失敗を防ぎ、自立して暮らせるように工夫している	(自己評価)		
			職員は利用者一人ひとりの状態を把握しており、混乱や失敗を招かないよう努めている。		
87		建物の外周りや空間の活用 建物の外周りやベランダを利用者が楽しんだり、活動できるように活かしている	(自己評価)		
			外周りや中庭にベンチを置き、利用者が楽しく会話出来る空間を作り、ゆったりと過ごされている。		

. サービスの成果に関する項目		
項目	取り組みの成果 (該当する箇所を印で囲むこと)	判断した具体的根拠
88	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる (自己評価) ① ほぼ全ての利用者の 2 利用者の2/3くらいの 3 利用者の1/3くらいの 4 ほとんど掴んでいない	入所時、生活習慣、趣味、娯楽、職歴、性格、嗜好等詳しくアセスメントを行っている。職員が利用者の思いにそえるよう努めている。
89	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある (自己評価) ① 毎日ある 2 数日に1回程度ある 3 たまにある 4 ほとんどない	利用者一人ひとりに寄り添い、お話をする機会をつくったり、おやつ、食事を一緒に摂り、ゆったりくつろいでいる。
90	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている (自己評価) ① ほぼ全ての利用者が 2 利用者の2/3くらいが 3 利用者の1/3くらいが 4 ほとんどいない	起床、就寝、食事時間等個々に合ったりリズムで生活されている。日中は買物、散歩、ドライブ、畑仕事、手芸などその方のペースで暮らされている。
91	利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿がみられている (自己評価) ① ほぼ全ての利用者が 2 利用者の2/3くらいが 3 利用者の1/3くらいが 4 ほとんどいない	出来ない部分の援助をさりげなく行うようにしている。利用者の自立支援を目指している。
92	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている (自己評価) ① ほぼ全ての利用者が 2 利用者の2/3くらいが 3 利用者の1/3くらいが 4 ほとんどいない	日中玄関は施錠せず、人の出入りはチャイムで分かるようにしている。職員は利用者の外出気配を感じたら、同行したり、見守りをしている。又、ドライブに出掛けたり、地域の人との交流やクローカーに参加されたりと自由に過ごされている。
93	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている (自己評価) ① ほぼ全ての利用者が 2 利用者の2/3くらいが 3 利用者の1/3くらいが 4 ほとんどいない	毎朝のバイタルチェックを行っている。グループホーム1名、隣接する宅老所の5名の看護師と連携を取れる体制となっている。又、利用者それぞれに主治医も決まっている。(月1回受診)
94	利用者は、その時々々の状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らしている (自己評価) ① ほぼ全ての利用者が 2 利用者の2/3くらいが 3 利用者の1/3くらいが 4 ほとんどいない	職員は理念の「一人ひとりの個性を尊重し、その人らしい生活を送れるよう支援する」の精神で利用者に安心して暮らして頂けるようサービスの向上を目指している。
95	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています (自己評価) ① ほぼ全ての家族と 2 家族の2/3くらいと 3 家族の1/3くらいと 4 ほとんどできていない	来訪時には利用者の様子をお伝えし、要望等もお聞きし全職員が把握出来るようファイルにて記録している。遠方の家族とは気になる事があれば電話で相談し、連絡を取り合っている。
96	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている (自己評価) ① ほぼ毎日のように ② 数日に1回程度 3 たまに 4 ほとんどない	友人や知人、赤ちゃんを連れてたおばあちゃん、小学生など、様々な方が遊びに来られている。

項目	取り組みの成果 (該当する箇所を 印で囲むこと)	判断した具体的根拠
97	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが広がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている (自己評価) ② ② ② ② 1 大いに増えている 2 少しずつ増えている 3 あまり増えていない 4 全くいない	運営推進会議において鬼北町の民生委員さんに順番に来て頂いている。徐々にグループホームへの理解、認識が深まってきている。
98	職員は、生き活きと働けている (自己評価) ① ① ① ① 1 ほぼ全ての職員が 2 職員の2/3くらいが 3 職員の1/3くらいが 4 ほとんどいない	職員は介護の仕事が好きである。職員間も皆で助け合い人間関係も良好である。
99	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う (自己評価) ① ① ① ① 1 ほぼ全ての利用者が 2 利用者の2/3くらいが 3 利用者の1/3くらいが 4 ほとんどいない	利用者お一人お一人を大切に、望まれる事は出来る限り対応している。職員は全員利用者を家族のようにおもい接している。
100	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う (自己評価) ① ① ① ① 1 ほぼ全ての家族等が 2 家族等の2/3くらいが 3 家族等の1/3くらいが 4 ほとんどできていない	家族には利用者の状況を細かく報告するよう努めている。来訪時には要望等もお聞きするようにしている。情報交換する事でよりよいサービスを提供し安心を得ることが出来ていると思う。

**【特に力を入れている点・アピールしたい点】**  
 (この欄は、日々の実践の中で、事業所として力を入れて取り組んでいる点やアピールしたい点を記入してください。)

(自己評価)

社名のゆうは漢字の「優」と英語の「YOU」で「優しさをあなたに」又、社訓の「利用者様は我が父母なり」は利用者お一人お一人が我が父であり、我が母であるとの気持ちで接していきたいとの施設長、管理者の思いがそれぞれ込められている。理念は「一人ひとりの個性を尊重し、その人らしい生活を送れるよう支援する」である。幸い素晴らしいスタッフ又、環境にも恵まれ、隣接する小学校からは毎日元気な子供の声、姿を見る事が出来る。利用者は小学生との交流を心待ちにしている。交流のお礼に利用者がお手玉を作ってプレゼントしたり、又、校庭の草引きをされたりと、小学生との交流が生き甲斐へと繋がっている。又、お天気の良い日は毎日散歩に出掛けたり、畑仕事にと健康的な生活を送っている。畑で収穫した野菜を使って食事もお旬の野菜中心の献立を心掛けている。

更に一人ひとりを大切に、それぞれのニーズに対応し、生活の質、ケアの質を高めていくための定期的な自己評価を行い、全職員が自分自身を見つめなおす機会としている。